

ベーシックロガー C-CR800 / 850

概要

C-CR800 C-CR850 は C-CR510 の後継機で、C-CR1000 の機能を絞ったモデルです。C-CR1000 と同じパフォーマンスを持ちながらコンパクトかつ経済的に設計されています。標準のチャンネル数などが少なくなっていますが、拡張機能も必要十分に備えています。C-CR1000 と互換性が高く、C-CR850 はキーボードディスプレイを本体上に乗っています。



C-CR800

C-CR850

C-CR1000 との違い

- アナログ入力チャンネルが半分以下
- コントロールポートが半数
- 拡張ポートがないので CF カード使用不可
- 消費電力がやや増える
- 価格が安い

基本仕様

インターバル	0.01 秒(10ms)~30 分(10ms ステップ)
記憶容量	標準:4MB(単精度 200 万データ) フラッシュ領域(プログラム領域):512kB
インターフェース	COM1:CSI/O COM2:RS-232C(アイソレートされていない) 通信速度 300~115.2kbps 1stop 8data None
時計精度	温度補正付、±3 分/年(-30~+85°C)、±15 分/年(-55~+85°C XT)
電源	9.6~16VDC(通常 12VDC 供給、逆接保護付)
消費電流	スリープモード:0.6mA 以下、1mA(1Hz)、16.2mA(100Hz)、27.6mA(100Hz/w RS-232C)
サイズ	本体:241L×104W×51H 重量:700g
動作環境	-25~+50°C(標準) 広温度範囲仕様:CR800:-55~+85°C/CR850:-30~+80°C
プログラム言語	CR-BASIC(従来の Edlog ではないのでご注意ください)
拡張ソフト	月報・年報・作図など(WINDOWS 7)
内部プログラム	サポートソフト(Logger net V3.4 以後)にて作成。専用関数多数、同時にいくつかのインターバル測定可能、各種算術計算統計計算:最大、最小、平均、標準偏差、移動平均、チャンネル間平均、5次多項式、特殊演算:水蒸気圧(乾湿計、露点)、風のベクトル演算、相関、共分散、FFT、ヒストグラム、センサー・デジタル入出力・機器のコントロール(8ポート)

入力・出力仕様

アナログ入力	SE6ch(差動 3ch) 13bitA/D
	アナログ入力レンジ ±2.5、7.5、25、250、2500、5000mV
	分解能 0.67 2、6.7、66.7、667、1333 μV
	50/60Hz フィルター使用時のノイズレベル 0.19、0.58、1.9、19.2、95.9、192 μV 精度 ±0.06%(0~+40°C)、±0.12%(-25~+50°C)、±0.18%(-55~+85°C XT のみ)
パルス入力	24bit2ch
	接点入力モード:無電圧 open:6ms、close:5ms、 高周波モード:250kHzmax、±20Vmax、low<0.9 high>2.2V 低周波 AC モード:±20Vmax 20Hz(20mV)~20kHz(5V)
プログラマブル定電圧出力	3ch(±2500mV) 分解能 0.67mV 駆動電流:±25mA 精度±0.15%(-25~+50°C) ±0.25%(-55~+85°C XT のみ)
	常時定電圧出力 1ch(5V 固定)
コントロール電源	1ch(12V/900mA)、その他 1ch(12V)
デジタル I/O	4 ポート、SDM(3 ポート使用)、SDI-12(2ch)、RS-232C(2ch 入出力)
	接点入力:150Hzmax、高周波入力:400kHz、 出力電圧:high:5V±0.1V、low:<0.1V、出力抵抗 330Ω(負荷は不可)、 入力電圧:high:3.8~5.5V、low:-0.3~1.2V、入力抵抗 100kΩ

拡張仕様(オプション)

C-CR1000KD : C-CR800 の計測データ、ポート状態を表示・変更するキーボードディスプレイ

C-LLAC4 : デジタルポートに接続して、AC4ch 入力を拡張(風速用)